

腐食センターニュース

腐食センター20周年にあたり

(公社)腐食防食学会腐食センター センター長 遅沢浩一郎

腐食センターは1993年(平成5年)1月に設置されたので、来年(2013年)1月に20周年を迎える。1974年(昭和49年)に腐食防食協会(現公益社団法人腐食防食学会)が設立されたが、その活動の一環として、社団法人日本防錆技術協会と共同で日本における腐食損失調査が行われた。1977年に出された調査報告書によると、日本における腐食損失は(Uhlig方式による算定によると)当時の金額で2.55兆円、GDP比にして1.7%にあたることが明らかになり、腐食防食の重要性を国の機関はじめ世間に認識させた。

この調査の結論の一つとして中立機関による腐食防食センターの設置があった。センター設立は直ぐには具体化には到らなかったが、その後も協会内には腐食に関する相談、啓蒙活動などを通じて腐食問題解決を支援することにより、日本における腐食対策費用を軽減したいという要望が常にあった。そして1989年12月の理事会において「腐食センター検討特別委員会」が発足し、その後具体化に向けた活動が精力的になされ、1992年11月に腐食センター発足記念講演会が開かれ、翌年1月に協会内の組織として正式に発足した。当初は十分な資金もなく、岡田秀弥センター長を中心に大変ご苦労されたが、関係者の努力およびご協力により、個別相談、講演と公開相談会、腐食センターニュース刊行、委員会・研究会活動など、地道ながら軌道に乗ることができた。当初は、将来的には協会から独立し色々な機能を備えた本格的組織とする、という構想もあったが、少数の陣容で、資金のかかる分析・試験等ハード面は他機関に依頼するなど、地道な活動が定着し、2004年には10周年を迎えることができた。

その後の10年間は、大口の相談、委託研究もあり、資金的にも比較的順調に推移してきた。しかし2011年3月の大震災以降、大口相談、委託研究も急激に減少してきている。過去には腐食センターのPRに十分力を入れてなかったのが、今後は営業活動に関する知恵と一層の努力が必要である。たとえば、今までは主に国内を対象に考えて、外国へのPRは特別には行っていなかったが、今後は国外からの受注の拡大にも一層力を入れる必要がある。それによって資金面だけでなく、センターの活動自体がより活性化させるであろう。今後は日本だけでなく世界の腐食コスト低減に寄与するという意気込みで活動したいものである。そのために今後とも皆様から是非ご支援と助言を頂ければ幸いである。